

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 社会的養護Ⅱ ナンバリング：2317	保育士資格取得 のための 必修科目	単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：高橋努、浅野瞳 担当形態：クラス分け
系 列	保育の内容・方法に関する科目		
教科目	社会的養護Ⅱ		
授業の到達目標及びテーマ 1. 1年次に学んだ「社会的養護」の理解を深めることができる。 2. 子どもの権利、家庭や社会のあり方について理解できる。 3. 保育士の専門性について理解できる。			
授業の概要 保育実習Ⅰ（施設）で体験・経験してきた、障害児・者への対応や、児童養護施設、乳児院等児童福祉施設で生活している子どもたちに対する支援の方法など、保育士として必要な「ソーシャルワーク」や保育士の専門性について演習課題を中心に学び、理解を深める。			
授業計画 第1回：社会的養護の理解のために 第2回：アドミッションケア（施設入所・里親委託に伴う支援） 第3回：インケア（日常生活支援・治療的支援） 第4回：リービングケア（自立支援） 第5回：アフターケア 第6回：ソーシャルワーク 第7回：記録と評価 第8回：保育実習Ⅰの振り返り①（グループワーク1：ブレインストーミング） 第9回：保育実習Ⅰの振り返り②（グループワーク3：ポスター作成） 第10回：保育実習Ⅰの振り返り③（ポスター発表） 第11回：グループ発表の準備①（パワーポイントの作成等） 第12回：グループ発表の準備②（パワーポイントの作成等） 第13回：グループ発表の準備③（パワーポイントの完成・提出） 第14回：グループ発表 第15回：グループ発表振り返り 定期試験：グループ発表、レポート		授業時間外の学習 ・授業前の予習をしっかりと行うことと、課題提出の期限を守ること。 （2時間） ・実習を行った「児童福祉施設等」に関する振り返りとそこで身に付けた対応方法などについて、グループワーク等を活用して理解を深める。 （3時間） ・施設実習の実習日誌（課題について）を活用して振り返りを行う。各自で整理しておくこと。 （3時間）	
授業の方法 グループワークを中心とした、演習形式。 前半はテキストを使用、後半は「保育実習Ⅰ（施設）」の振り返り。実習の振り返りを題材に、レポートの作成やパワーポイントの作成、発表技法の習得などを行う。振り返りのレポート作成の過程で適時アドバイスをしてフィードバックする。			
テキスト 図解で学ぶ保育『社会的養護Ⅱ』 杉山宗尚・原田旬哉 編著 萌文書林			
参考書・参考資料等 授業内で適宜プリント等配布する。			
学生に対する評価 （評価については、ルーブリック評価を活用する） レポート作成（A4…2枚、2,000文字以上必須）（50%）、グループ発表等（50%）			
履修上の注意 ・「保育実習Ⅰ（施設）」の振り返りレポートの作成。（実習課題の達成度やレポートのまとめ方） ・グループ発表は、メンバーと協力して、資料作成や発表を行うこと。（1年生への資料として活用することを前提に作成すること。）			
実務経験の有無	有	実務経験	高橋・浅野：元施設勤務（社会福祉士）
実務経験を活かした教育内容 施設での相談業務の経験を活かし、実際の施設での子どもたちなどの状況などを説明し、社会的養護Ⅰで学んだことをさらに深められるよう事例などを取り入れた授業を行う。			